



認知症への理解深める講演会



▲上映会・講演会には大勢の町民が集まった

7月9日、今年度の「認知症講座」としてドキュメンタリー映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」の上映会が社会福祉会館で開催され、昼の部・夜の部を合わせて112名が鑑賞に訪れました。この映画は、認知症の妻とそれを支える夫の日常風景を、映像監督である娘の視点で切り取った作品です。昼の部の上映後には、この映画を撮影した信友直子監督による講演会が開かれ、認知症の家族の心に寄り添うことや、自分を含めた誰もがかりうる身近な病気として、家族だけでなく周囲の人とも一緒に支え合うことの大切さを語りました。



こども園で避難訓練



▲ホースから吹き出す水の勢いに目を輝かせる園児

7月8日、こども園で給食室を火元と想定した避難訓練が行われました。園庭へ避難した後、消防天塩支署の職員が避難のための5つの約束「おかしもち」について1つずつ説明すると、園児らは元氣よく返事をしました。また保育士らに向けては、今年6月に東京都内の小学校で発生した火災の話題にも触れながら、意外な場所が火元になることもあるため様々なシチュエーションを想定して訓練することが大切だと説明しました。続いて恒例の放水体験が実施され、きりん組の園児らが消防士の衣装に身を包んでホースを使った放水を体験しました。



レスリング少年団全国大会出場



▲全国大会に参加した団員ら

天塩ちびっ子レスリング少年団の団員6名は、7月24～26日に国立代々木体育館（東京都）で開催された「第43回全国少年少女レスリング選手権大会」に出場しました。大会を翌週末に控えた7月15日、吉田町長のもとを訪れた団員らは「得意な技で勝ち上がっていきたい」「メダルを獲りたい」と意気込みを語りました。

《大会結果（第3位まで）》
 第3位 高田康玄（男子の部3年生33kg級）、第3位 前山蓮（男子の部5年生60kg級）



総理大臣メッセージを伝達



▲伝達に訪れた保護司ら

7月13日、第76回「社会を明るくする運動」総理大臣メッセージの伝達式が行われました。天塩地区保護司会天塩支部の高橋泰史支部長ら5名の保護司が役場を訪れ、吉田町長に総理大臣メッセージを伝達しました。

「社会を明るくする運動」は、昭和26（1951）年に始まり、今年で76回目を迎えます。すべての国民が犯罪や非行の防止と立ち直りに関する理解を深め、犯罪のない安全で安心な地域社会を築くための全国運動として、保護司の皆さんが様々な取り組みを行っています。



海外大学生来町で 観光学研修



オーストラリアのマードック大学本校から10名、同校シンガポール校から10名、札幌の北星学園大学（国際学部グローバル・イノベーション学科）から4名の大学生（学生計24名・教員4名）が、7月9日から4泊5日の日程で8年ぶりに来町滞在し、観光学研修を行いました。「イベント」「映像」「歴史・自然」「サイクル」の4つのグループごとに天塩川しじみまつりへの出席参加を含む、天塩川歴史資料館での学芸員・協力隊による解説案内や町サイクル・ルート試走等の活動体験を通して、旅行者が訪れることで、地域

がより良い状態になることを目指す「再生型観光（リジェネラティブ・ツーリズム）」を実践・探究しました。町内での研修を経て7月16日、テーマ・グループ毎に大学生が探究し、分析した成果として「戦略的天塩町観光計画」としてまとめ、オンラインでのプレゼンテーション発表を通じて、町関係者と意見交換を行いました。大学生による提案内容の中には、酪農家と交流できる体験型フードツアー、案内解説付サイクル・ツアー、天塩川、冬季観光アクティビティ開発、案内看板等や鏡沼公園を含む町内インフラ改善、SNSでの情報発信など、外国人旅行者（インバウンド）視点での具体的な観光施策アイデアが発表されました。



▲天塩川しじみまつりに参加した大学生たち



▲外国人目線での天塩サイクル・ルート意見交換



作曲家による演奏指導・天中



▲演奏指導を受けた天中吹奏楽部の生徒

7月27日、作曲家の内藤淳一先生（宮城県仙台市在住）を招聘し、天塩中学校・吹奏楽部の生徒7名が午前と午後に分けて、8月に開催される吹奏楽コンクールで演奏する自由曲について指導を受けた（途中、天塩高校吹奏楽局の生徒5名にも演奏指導を実施）。部長の磯田虹空さん（3年生）は「今回の内藤先生の指導を受けて曲の細かい雰囲気や楽譜に載っていない強弱など、気づかされることが沢山ありました。教わったことを忘れず、コンクール曲だけでなく他の曲にも生かしていきたい」と感想を語りました。



地域の人に話を聴く会



▲天塩高校（1年生）と町民が対話する様子

天塩高校では、教科の枠を超え、生徒が主体的に課題を発見し、仮説検証を通じて思考力を養う「総合的な探究」授業を先駆的に実施しています。7月22日、同校体育館を会場に1年生18名と町民10名（商店主、観光協会会長、製造業者、地域おこし協力隊、役場職員）が参加し「地域の人に話を聴く会」を行いました。生徒が、町の産業や自然、観光などの分野テーマごとに特長や魅力、課題、等についてインタビューによる対話を行いました。今後、これら聴き取った内容をもとに整理しながら探究活動を継続し、考察を加えて12月に同校にて発表会を行う予定です。



バス停サロンで夏休みイベント



▲夏休みバス停サロンで子供たちと交流する様子

天塩町母子寡婦会が月1回開催している「バス停サロン」が8月6日に開催されました。今回は夏休み特別企画ということで、子供限定で焼きそばが、また来場者にポップコーン・わたあめ・かき氷が無償提供され、小中学生約20人が訪れて会員らと交流を行いました。会長の中村和子さんは「普段は平日昼間の開催ですが、今回は夏休みで多くの子供たちと触れ合うことができてよかったです」と語りました。この取組は、高齢者が住み慣れた町ですと暮らすことができるよう、地域住民が相互に協力して助け合う仕組みを構築する生活支援体制整備事業のもとで実施しています。



町内の工事現場を見学



▲バックホーの操縦を体験する様子

7月27日、堀松建設株式会社（留萌市）による工事現場の見学会が、こがら児童クラブの通所児童を対象に開催されました。
1か所目の天塩港では、浚渫工事によって港の環境を維持することが町の活性化に繋がっていることなどを説明し、ドローンの操縦も体験しました。2か所目は間寒別に近い国根布で行われている天塩川の築堤工事を見学。川の氾濫から地域の人々を守る工事であると説明した後、実際に現場作業に使われているバックホーやブルドーザー等の重機に作業員とともに乗車し、操縦を体験しました。



芝生広場でカフェ



▲芝生広場にて絵本の読み聞かせをする様子

月1回、サニースペース（海岸通4）で開催されているコミュニティカフェ「Tea to Let」（テトプラス）が、8月8日に「森のTea to Let」として初めて町運動公園・芝生広場で開催されました。スラックライン体験やストレッチーズ、無料配布によるシャボン玉あそび、大型絵本の読み聞かせ会、リズムあそび等の子供向け企画、天塩高校茶道愛好会によるお点前披露、マスカットサイダー早飲み大会やポートレート撮影会が行われ、天候にも恵まれたことから町内外から多くの子供連れの来場があり、心地よい陽気のなか歓喜に包まれていました。



中嶋さんが旭日双光章を受章



▲受章された中嶋さん

令和8年度高齢者叙勲（令和8年5月1日付）において、町在住の中嶋康治さんが旭日単光章を受章され、8月3日に吉田町長より勲記と勲章が伝達されました。
中嶋さんは、平成11年から3期12年に渡って天塩町議会議員として在籍し、監査委員や議会総務文教常任委員会委員長を歴任しました。また、天塩町農業委員会委員として昭和56年7月から平成11年までの18年、平成23年7月から平成26年7月まで3年、計21年間務められ、天塩町の産業、文化、福祉の向上に大きく貢献されました。